

◆ 平成26年度 事業・収支報告 ◆

4月11日(土)にアミューズ豊田で総会を開催しました。平成26年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、平成27年度の事業計画・予算等は全て承認されました。

今年度は、磐田市合併10周年の記念の年です。磐田市自治会連合会も誕生して10年になります。

総会開催前には、磐田市が制定した市歌を平尾亮子さんに歌っていただき、新たなスタートをきりました。

また、今回の総会をもって、8年間連合会長を務められた杉田友司さんが退任され、神谷五郎会長にバトンタッチしました。

< 平成26年度 収支報告 >

| 収入 | | 支出 | |
|--------|------------|--------|------------|
| 費目 | 収入額(円) | 費目 | 支出額(円) |
| 会費 | 1,690,000 | 会議費 | 499,769 |
| 交付金 | 11,961,400 | 事務費 | 2,533,340 |
| 負担金 | 565,200 | 助成費 | 7,060,000 |
| 前年度繰越金 | 746,328 | 視察研修費 | 968,062 |
| 雑収入 | 343 | 事業部活動費 | 3,189,955 |
| 合計 | 14,963,271 | 負担金 | 163,000 |
| | | 予備費 | 0 |
| | | 合計 | 14,414,126 |

◆ 平成27年度 事業計画・収支予算 ◆

【27年度事業計画】

「安全・安心の住みよいまちづくりの取り組みを推進する」を基本方針に、次の10項目に取り組みます。

- 1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる市政懇談会、市二役及び市議会との懇談会等の開催
- 2 安全・安心のまちづくり交通安全連合会等との連携、地区防犯組織への活動支援、防犯パトロール推進大会
- 3 防災対策アクションプログラムの推進、家庭防災の日、自主防災組織の強化
- 4 地区自治会活動の推進地域づくり組織への取組
- 5 多文化共生社会の推進自治会長情報懇談会の開催
- 6 環境美化の推進ポスターコンクールの実施、環境美化活動



▲ 自治会連合会総会の様子

< 平成27年度 予算 >

| 収入 | | 支出 | |
|--------|------------|--------|------------|
| 費目 | 予算額(円) | 費目 | 予算額(円) |
| 会費 | 1,700,000 | 会議費 | 600,000 |
| 交付金 | 12,460,000 | 事務費 | 2,802,000 |
| 負担金 | 687,000 | 助成費 | 7,360,000 |
| 前年度繰越金 | 549,145 | 視察研修費 | 1,080,000 |
| 雑収入 | 855 | 事業部活動費 | 3,255,000 |
| 合計 | 15,397,000 | 負担金 | 200,000 |
| | | 予備費 | 100,000 |
| | | 合計 | 15,397,000 |

- 7 広報活動連合会だよりの発行、ホームページによる情報発信
 - 8 役員及び会員の資質向上役員視察研修、自治会長コミュニティハンドブックの発行
 - 9 自治会課題の解決及び組織見直しに向けた取り組み組織検討委員会による検討
 - 10 協力事業地域福祉や青少年健全育成、スポーツのまちづくり等への協力、津波対策事業基金への募金
- 今年度から、各地域では地域づくり組織が設立されています。自治会連合会では、さらに地域力の向上を推進していくため、各種団体と連携を図りながら、活動を展開していきます。

市内一斉環境美化活動

6月7日(日)の「環境美化の日」に市内全域で、環境美化活動が行われました。福田支部では、「河川クリーンアップ作戦」と銘打って、河川美化活動を実施しました。当日は、昨年を上回る約1400名の市民が参加し、1.6tのごみを収集しました。



自治会連合会HPの紹介



http://www.iwatashi-jichikai.jp/

自治会連合会ではHPを開設しています。

連合会・地区活動を掲載し、市の補助金などの様子をダウンロードできます。情報発信及び交流の場の1つとして、より効果的・効果的な運営をしていきます。是非ご覧ください。

回覧

VOL.25

平成27年7月1日発行

発行：磐田市自治会連合会
編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局〈市自治振興課〉

☎(0538)37-4811

http://www.iwatashi-jichikai.jp

◆ 安全安心のまちづくりに向けて ◆

自治会のいま



自治会連合会長
神谷 五郎

本年度がスタートして3カ月経過しました。新任の自治会長さん(会長の私も同様です)にとっては、初体験のことでも従来どおりの内容を要求されるので、大変ですが、頑張りましょう。「すべての道はローマへ磐田へ」に通ず」と言われるように、方法・手段はいろいろありますが、目的は同じです。

近年、防犯・防災・福祉・環境対策など課題が山積し、多様化するだけに、より安全で安心できるまちづくりに向けた自治会活動などの地域コミュニティ活動の重要性が再認識されてきました。磐田市内でも、今年度から交流センター(従来の公民館など)を中心に「地域づくり組織」が各地区で発足し、活動を開始しました。多くの人たちの参加・協力が期待されています。

この際、是非、役員を体験して、こんなに地域住民のためとなる役があったらいいですね。

たのか?皆様に必要とされているのか?を感じて、「顔の見えない関係」が「顔の見える関係」になることを期待します。

自治会がより自立的に発展していくには、行政と自治会が二人三脚で進んでいくことが大切です。行政側も、自治会の役割、必要性について市民へのPRの強化などが必要だと思います。

自然災害列島日本とはいえ、最近は大規模災害などで一番身近な味方となる自主防災組織が自治会です。被害を最小限に食い止めるには、自助・近助・共助・公助の連携が重要です。自治会連合会では、防災対策アクションプログラムの推進、防災ファイルの活用により前進しました。

一方、社会的構造の変化や価値観の多様化などが自治会加入率の低下、役員の担い手不足、高齢化など様々な課題を生みだしています。市内には50世帯未満の単位自治会が約20%あり、その運営の困難さを痛感させられます。自治会は行政と住民のパイプ役であり、住民の声を吸い上げて意見を伝える(例えば市政懇談会等)などの活動をしていくことで、防犯・防災・福祉など安心して暮らせるようにお互いを知ることが大切であり、必要です。

地区長の役割

市内には31の地区自治会があります。小学校区や昭和初期の旧村などをエリアに、複数の自治会で組織されています。

1つの自治会では対応困難な課題に広域的に取り組むことで、効率化や負担軽減を図ったり、自治会同士の連絡調整などを行っています。

地区長は、自治会連合会の方針や市の事業などについて、自治会長へ連絡や報告をしたり、それぞれの地域の課題を取りまとめ、要望するなど、地域と行政のパイプ役として活動しています。

また自治会連合会の理事として、事業運営にも参加しています。



※次頁で地区長を紹介しています。

磐田市

自治会連合会だより

～ 31 地区・304 自治会の力の結集で安全安心のまちづくりに努めています ～

◆ 各地域の取りまとめ役
を紹介しします ◆

● 磐田支部

支部長 水野 勲



合併10周年を迎え、磐田支部でもいろいろな課題が出てきました。13の地区として、142の自治会があります。それぞれ課題がありますが、特に少子高齢化の波が押し寄せてきています。高齢化率が30%を超えている自治会は、40以上あります。これからの自治会運営や会員の減少が、まだまだ高齢化で続いていくと思われれます。10年後を見据えた自治会活動を今から考えておく必要があります。将来を見越して具体的な準備をしていくことが大切かと思えます。



見付地区長
鈴木 誠



中泉地区長
小柳 貴臣



西貝地区長
中村 和良



長野地区長
石川 和典



大藤地区長
岩本 佳光



南御厨地区長
藤原 孝一



今之浦地区長
樋口 榮造



天竜地区長
臼井 顯



於保地区長
寺田 和弘



向笠地区長
戸田 早苗



岩田地区長
青島 浄



御厨地区長
鈴木 延男



田原地区長
元場 千博

● 豊田支部

支部長 村上 勇夫



生活環境の変化で地域への帰属意識の変動も著しい反面、人々の安全で安心な住み易い環境での生活願望は不変です。この実現には防災、防犯福祉、青少年健全育成等の充実した自治会活動が必要で、高齢化や役員へのなり手不足、旧態依然の体制等で自治会活動が低迷することは避けたいです。住み易い環境は自分たちが作り上げるものと考えます。次世代の人たちに誇りを持って引き継げる地域づくりに取り組んでいます。地域の皆様にも積極的な参加と協力、ご支援を心から願っております。



富岡地区長
島岡 信生



豊田東地区長
伊井 正武



池田地区長
兼子 孝宏



青城地区長
大澤 房男



井通地区長
足立 佳津雄

● 福田支部

支部長 杉浦 聖



自治会運営は、年々難しくなっています。自治会加入率の低下や住民の価値観の多様化、高齢者世帯の増加、役員のなり手不足に加え、防災や防犯、地域福祉も大きな課題となっており、自治会運営を難しいものになっています。



福田南地区長
星野 秀次郎



豊浜地区長
伊藤 富次夫



西部地区長
入澤 哲治



福田東地区長
寺田 一秀



福田西地区長
白井 幹廣



北部地区長
寺田 一雄



中島地区長
山本 英勝



● 竜洋支部

支部長(西地区長) 府川 光利

世の中は少子高齢化になりました。学校教育も変わります。その中で自治会が担う役割も変わってきています。防災、防犯、福祉、文化、青少年健全育成、交通安全など全て地域の皆さんの総力により成り立っています。ありがとうございます。新たに地域で育てる学校(コミュニティスクール)とし、学校行事への参加、子どもたちの地域での育成が求められています。新しい連合会執行部で、微力ですが努力していきますので、よろしくお願いします。



東地区長
根本 邦雄



北地区長
藤田 允

● 豊岡支部

支部長 仲川 勝彦



「まちづくりは人づくり」豊岡はこの4月から一中学校、二小学校でスタートを切りました。また、今までの豊岡総合センターの多くの機能を取り入れた複合施設として(仮称)豊岡総合会館も起工式が行われ、年度末に完成という豊岡の新しい地域づくりへの準備の年です。自治会連合会と地域にある関係諸団体と「安全安心で住みよいまちづくり」のため、様々な課題解決に向け、本年から効率的連携・協力が進められるよう、役員の皆さんと力を合わせて取り組むたいと考えています。



北地区長
深田 研典



南地区長
石川 好三



東地区長
小木 秀市

